

第2回よさの地域デザイン会議（野田川地域）を開催しました

11月1日（月）野田川わーくばる多目的ホールで、「第2回よさの地域デザイン会議（野田川地域）」を開催しました。「よさの地域デザイン会議」とは、持続可能なまちづくりにおける公共サービス・公共施設のあり方について、住民の方々との対話により多彩なアイデアや提案を収集する場です。

今回の会議のテーマは「施設の集約、機能の複合化」。

既にグループテーブルには、既に名刺サイズの公共施設カードが「小学校区」「旧町地域」「全町地域」ごとに整理して並べられています。カードの裏面を見ると、その施設の建築年、築年数、主な利用者、利用者数等が表示されています。

まずは、合併前の旧3町から引き継いだ庁舎、大規模集会施設、こども園・保育所、小中学校、体育館、グラウンド、テニスコート等の現状と課題について町企画財政課から情報提供を受け主な公共施設の現状を認識したあと、グループに分かれて「施設の集約、機能の複合化」について意見を出し合いました。

参加者 住民 15人、町職員 5人、傍聴者 0人
ファシリテーター 一般社団法人 地域問題研究所 理事長 青山 公三 氏

【会議の様子】



参加者のみなさまからの意見の一部を紹介します

A グループ

- ◇まずは庁舎の統合を。加悦庁舎が一番新しいが、中心である野田川地域にすべき。
- ◇グラウンドの全てのナイター設備をLED化すると大変なので、一部の設備にすればよいのでは。
- ◇面積や水はけの良さ、利用状況なども考慮し、各地域1施設ずつは残せばよいのでは。
- ◇消防団の訓練での利用については、現状ではナイター設備の使用を限定すると利用日が被る可能性があるため、利用日を決め被らないようにすればよい。
- ◇施設を複合化する場合は、維持したい施設の箇所に集めるようにすべき。
- ◇財政に余裕ができるまではあまり動かなくてもよいのでは。

B グループ

- ◇庁舎はまず1つに。野田川庁舎が古いのなら、そこに統合を見越した庁舎を建ててはどうか。
- ◇地区公民館は、災害時のためにも近くに必要。
- ◇小学校の中に統合をしても良いかもしれない。
- ◇こども園や小学校は旧町単位に1つ、中学校2つへ統合。
- ◇旧小学校（岩屋・与謝）は公民館として集約して使うこともできるのでは。
- ◇体育館やグラウンド、大規模集会施設等は旧町単位に1つに。ナイターも使用できる場所を限る等で節約できることはする。全町域にするには庁舎統合で先導するべき。
- ◇与謝野駅は町内唯一の施設なので、もっと力を入れるべき。例えばケーキ工房を与謝野駅に移転して賑わいを。
- ◇生産加工施設と給食センターを組み合わせるとはどうか。
- ◇かや山の家は宿泊施設が町に少ないから残そう。
- ◇旧町単位で公園やキャンプ場を集約してはどうか。
- ◇民間に任せられる部分はどんどん任せて良いと思う。町から手放さないと維持できない。

C グループ

- ◇未来の与謝野町のことを考えると、子供たちの教育環境やそれに付随する施設について考えたい。
- ◇スポーツ振興施設や公園等を一体化し学校の近くに配置できると教育の充実が図れると思う。
- ◇学校施設だけでも相当数あり、一つにまとめるとはいかなくても、段階的に数を減らす工夫が必要になると思う。ただ、多様性が求められる世の中で一概に大人数で学校生活を送ることが良いとも限らないと思う。
- ◇スクールバスでの送迎を実施できたら、もっと積極的に統廃合ができると思う。
- ◇学童やこども園と学校施設の一体化についても考えたが、遊ぶ場所や遊び方を考えたときに危険が生じることが懸念される。
- ◇教育施設がまとまりスリムになることは望ましいが、ただ統合することが正しいとは限らないと思う。

D グループ

- ◇使えない、使い切れない、有効活用できない施設については、「区」や「NPO」「民間事業所」などに貸す、譲るなど『施設を手放す』ことも考えるべき。
- ◇地域間、施設間を結ぶ交通機関、移動の仕組みが必要。
- ◇特に旧小学校については、多目的利用の先進事例が多数ある。真似ではなく参考にして、この地域ならではの取り組みを考えるのがよい。

【感想】

- ◆旧町ごとに施設カードを並べてみると、野田川地域は保育所や小学校は多いが、他の施設については他地域より少ないことがよくわかった。
- ◆野田川は築年数が古い建物ばかりで、これまで新しい建物は立てずに無駄なお金を使わず我慢してきたってことだなぁ。
- ◆野田川には観光施設がない。
- ◆加悦に生産加工施設がいろいろあるのを知らなかった。
- ◆こんなにたくさんの施設があることに気づいた。維持していくにもお金がたくさんかかって大変だと改めて感じた。
- ◆どこにあって何のための施設かも知らない、あそこも公共施設なんだとの気づきがあった。
- ◆子どもが減る前提で進めるより、どのようにして増やすかを考えていきたい。
- ◆市民の意見を聞くことは良いことだと思うが、細かい話になると市民としては非常に難しい。
- ◆岩屋小学校と市場小学校の統合については、岩屋の方からは児童数が増えてりがたいという声を聞いた。
- ◆他のグループの意見を聞くと、学校施設は災害時の避難施設として必要という意見もあった。そこまで考えが及んでいなかったなので、多方面から考えることが大切だと気付かされた。
- ◆多目的で使えるように考えるには、敢えて目的・年齢分けなどしないほうがよい。
- ◆「移動手段」の確保が必須。そこまで行かないと施設（サービス）利用はできない。



問い合わせ先

よさの地域デザイン会議事務局（与謝野町企画財政課）

電話 0772-43-9015（直通） FAX 0772-46-2851

メール kikakuzaisei@town.yosano.lg.jp